

株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 320,000,000 株
発行済株式の総数 50,000,000 株
株主数 10,224 名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,197	14.94
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,826	5.86
株式会社第四北越銀行	2,184	4.53
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,939	4.02
第一生命保険株式会社	1,785	3.70
株式会社三井住友銀行	1,516	3.14
THE BANK OF NEW YORK 133652	1,375	2.85
ツガミ取引先持株会	1,148	2.38
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	1,111	2.30
ダイキン工業株式会社	717	1.48

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しており、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式を1,824千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

会社の概要 (2023年3月31日現在)

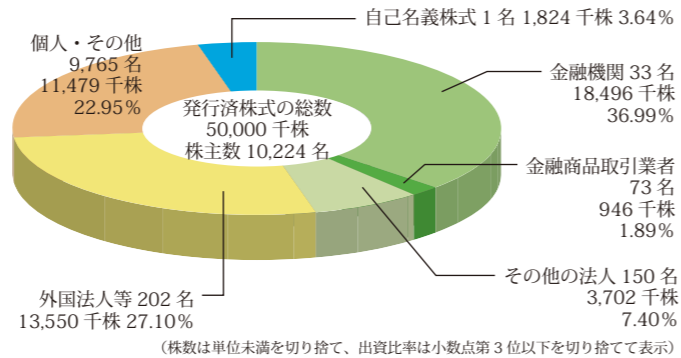
商号 株式会社ツガミ
設立 1937年3月
本店所在地 東京都中央区日本橋富沢町12番20号
資本金 12,345百万円
従業員数 3,103名(連結)
役員の状況 (2023年6月21日現在)
取締役会長 久保 健
代表取締役社長 渡部 昇弘
代表取締役 米山 賢司
取締役 唐 東雷
" 平山 武史
取締役(監査等委員である取締役) 木村 裕
" 竹内 芳美
" 安達 健祐
" 島田 邦雄
" 山宮 道代

本社・工場 本社 東京都中央区日本橋富沢町12番20号
長岡工場 新潟県長岡市東蔵王1丁目1番1号

営業拠点 海外事業統括部(東京)
東日本営業部(埼玉)
中部営業部(名古屋)
西日本営業部(大阪)

ツガミグループ 株式会社ツガミ総合サービス
津上精密機床(中国)有限公司 [英領ケイマン諸島]
津上精密機床(香港)有限公司 [香港]
津上精密機床(浙江)有限公司 [中国]
浙江品川精密機械有限公司 [中国]
安徽津上精密機床有限公司 [中国]
中津精密機床(浙江)有限公司 [中国]
TSUGAMI (THAI) CO., LTD. [タイ]
TSUGAMI EUROPE GmbH [ドイツ]
TSUGAMI KOREA CO., LTD. [韓国]
TSUGAMI PRECISION ENGINEERING INDIA PRIVATE LIMITED [インド]
TSUGAMI Universal Pte. Ltd. [シンガポール]

所有者別株式分布状況



株式メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
期末配当の基準日 毎年3月31日
剰余金の配当の基準日 毎年9月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711(通話料無料)
(郵送先)
郵便番号 137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法 電子公告により、当社ホームページ(<https://www.tsugami.co.jp/>)に掲載いたします。
なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、官報に掲載して行います。
上場金融商品取引所 東京証券取引所

お知らせ

- 株主さまのご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取請求、配当金振込指定などを行う場合の受付窓口は、原則として口座を開設されている証券会社等になります。郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金に関するご照会および株式事務に関する一般的なお問合せは、三菱UFJ信託銀行株式会社で承ります。
- 証券会社等の口座ではなく特別口座に記録された株式に関する各種手続きは、三菱UFJ信託銀行株式会社で受付いたします。
- 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社等の口座に振替える必要があります。

株主の皆様へ

第120期報告書 2022年4月1日～2023年3月31日



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第120期の営業概要等につきましてご報告申し上げます。

当期における当社グループを取り巻く環境につきましては、国内・海外市場共に調整局面が継続しております。そのような中、業績面は良好な収益構造を維持しており、その結果、売上収益は、前期比1.9%増の94,963百万円となりました。

機種別の売上収益では、主力の自動旋盤は前期比0.4%増の79,792百万円、研削盤は同8.3%増の4,274百万円、マシニングセンター・転造盤・専用機は同8.4%増の5,894百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は前期比11.1%減の16,758百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同18.9%減の7,695百万円となりました。

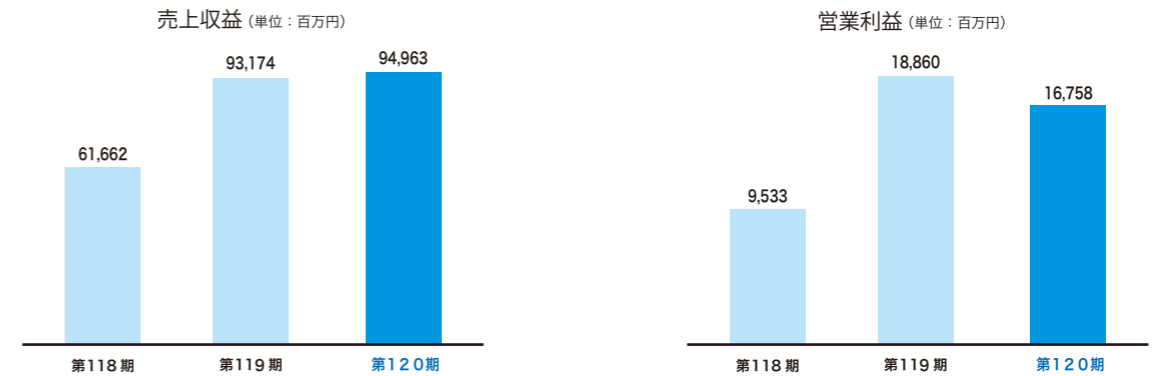
2023年3月期の剰余金の配当につきましては、1株につき中間配当金22円、期末配当金24円の年間46円とさせていただきました。2024年3月期につきましては、1株につき中間配当金24円、期末配当金24円の年間48円にさせていただく予定です。

引き続き売上の拡大と生産の効率化・原価の低減を図るとともに、お客様のニーズに合致した新製品の提供とサービスの充実に努め、常にお客様満足度の向上を目指し、お客様に信頼される経営に全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月
株式会社ツガミ

連結業績の推移



営業成績および財産の状況の推移

区分	第118期		第119期		第120期	
	連結	個別	連結	個別	連結	個別
売上収益(百万円)	61,662	18,447	93,174	30,668	94,963	32,676
営業利益(百万円)	9,533	60	18,860	2,176	16,758	303
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	4,917	3,777	9,486	4,280	7,695	3,600
基本的1株当たり当期利益(円)	95.21	73.13	191.99	86.63	159.39	74.58
資産合計(百万円)	79,278	35,238	103,761	38,456	112,364	43,916
資本合計(百万円)	46,836	20,010	57,840	18,257	64,922	19,198
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	751.14	380.94	941.82	366.65	1,057.67	392.00

(注) 単位未満を切り捨てて表示しております。

(注) 個別については、売上高、営業利益、当期純利益、1株当たり当期純利益、総資産、純資産、1株当たり純資産を表示しております。なお、過年度修正を行っております。

連結財務諸表

◆連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	前期 (2022年3月31日現在)	当期 (2023年3月31日現在)
資産		
流動資産合計	82,036	90,370
現金及び現金同等物	18,844	25,779
営業債権及びその他の債権	27,614	23,117
その他の金融資産	30	30
棚卸資産	32,618	38,500
その他の流動資産	2,928	2,943
非流動資産合計	21,724	21,994
有形固定資産	14,191	14,154
使用権資産	1,915	1,957
無形資産	903	615
退職給付に係る資産	64	17
その他の金融資産	4,130	4,569
繰延税金資産	308	455
その他の非流動資産	210	225
資産合計	103,761	112,364
負債及び資本		
負債		
流動負債合計	42,873	43,689
営業債務及びその他の債務	22,234	20,384
借入金	13,313	17,698
その他の金融負債	170	196
未払法人所得税等	1,390	1,447
引当金	585	503
契約負債	4,421	2,721
その他の流動負債	757	737
非流動負債合計	3,046	3,752
その他の金融負債	106	145
退職給付に係る負債	924	918
引当金	5	5
繰延税金負債	1,460	2,123
その他の非流動負債	550	559
負債合計	45,920	47,442
資本		
資本金	12,345	12,345
資本剰余金	3,222	3,022
自己株式	△2,040	△2,247
その他の資本の構成要素	6,256	6,887
利益剰余金	25,795	30,945
親会社の所有者に帰属する持分合計	45,580	50,953
非支配持分	12,260	13,968
資本合計	57,840	64,922
負債及び資本合計	103,761	112,364

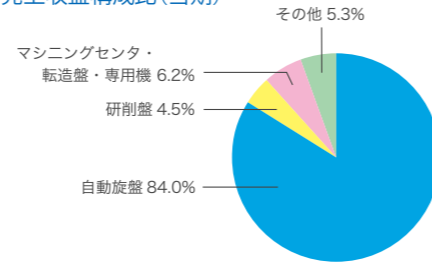
◆連結損益計算書

(単位：百万円)

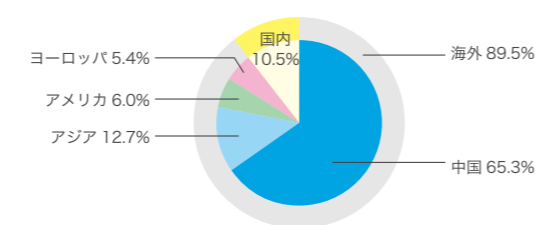
科目	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上収益	93,174	94,963
売上原価	△64,994	△68,204
売上総利益	28,179	26,758
販売費及び一般管理費	△10,223	△11,044
その他の収益	3,019	1,314
その他の費用	△2,114	△271
営業利益	18,860	16,758
金融収益	328	394
金融費用	△412	△683
持分法による投資損益(△は損失)	-	△1
税引前利益	18,776	16,467
法人所得税費用	△6,155	△5,622
当期利益	12,620	10,845
当期利益の帰属		
親会社の所有者	9,486	7,695
非支配持分	3,134	3,149
当期利益	12,620	10,845
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	191.99	159.39
希薄化後1株当たり当期利益(円)	188.07	157.33

◆売上収益構成比(連結)

機種別売上収益構成比(当期)



地域別売上収益構成比(当期)



(比率は各区分ごとに小数点第2位以下を四捨五入して表示)

◆連結持分変動計算書

当期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分										非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計	利益剰余金	合計		
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計					
2022年4月1日時点の残高	12,345	3,222	△2,040	4,383	1,872	-	6,256	25,795	45,580	12,260	57,840	
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	7,695	7,695	3,149	10,845	
その他の包括利益	-	-	-	342	288	△8	622	622	622	138	761	
当期包括利益合計	-	-	-	342	288	△8	622	7,695	8,318	3,288	11,606	
自己株式の取得	-	-	△918	-	-	-	-	-	-	△918	△918	
自己株式の処分	-	△200	711	-	-	-	-	△408	103	-	103	
配当金	-	-	-	-	-	-	-	△2,130	△2,130	△1,580	△3,711	
利益剰余金への振替	-	-	-	-	-	8	8	△8	-	-	-	
持分法適用会社の持分法適用除外に伴う増減	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	
所有者との取引額合計	-	△200	△207	-	-	8	8	△2,545	△2,944	△1,580	△4,525	
2023年3月31日時点の残高	12,345	3,022	△2,247	4,726	2,161	-	6,887	30,945	50,953	13,968	64,922	

機械工業デザイン賞 IDEA 受賞

2022年7月、ツガミのターニングセンタ SS26MH-II-5AX が、第52回機械工業デザイン賞 IDEA(主催：株式会社日刊工業新聞社)の「審査委員会特別賞」を受賞いたしました。

本製品は、主軸移動型自動旋盤とマシニングセンタを融合した「生産型複合加工機」です。

バー材からの同時5軸加工が必要な形状を含む複雑形状部品の量産加工が可能であり、干渉チェック機能の搭載による干渉防止など操作性や安全性が高い機械です。



機種紹介

◆ターニングセンタ B020M-III

スライス型自動旋盤(主軸移動型)とマシニングセンタの融合による生産型複合加工機
コンパクトなボディに多機能な量産性を凝縮

- 4.75m² のフロアスペースに自動旋盤、マシニングセンタの2台を凝縮し、フロア当たりの生産性を大幅に向上
- 多彩な加工パターンで複雑形状部品を一台で全加工し、生産性を飛躍的に向上
- ツールホルダは、2面拘束ホルダ(CAPTO C3)を採用し、高精度で強力な加工が可能
- 3.7kW の高出力ビルトインモータの採用により、低速から最高回転速度 25,000min⁻¹ までマシニングセンタと同等の高効率なミリング加工が可能
- Y軸付の背面刃物台により、背面複合加工と主軸側とのオーバーラップ加工が可能。加工時間の短縮を実現



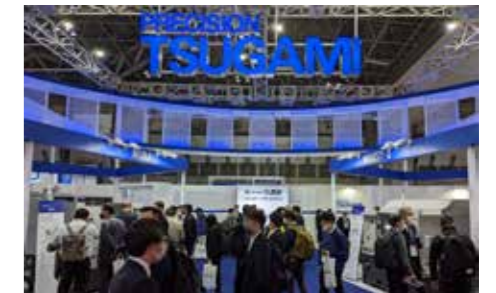
展示会を開催

取引先の開拓を積極的に進めてまいりました。

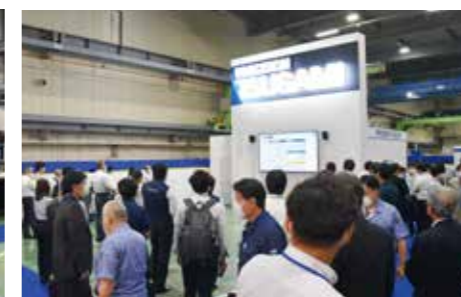
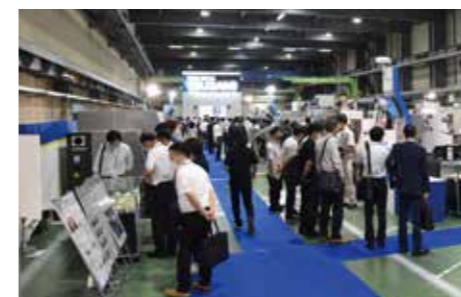
2022年6月23日から2日間、ツガミ長岡工場にてツガミテクニカルフェア2022を開催いたしました。

2022年11月8日から6日間、東京ビッグサイトにて開催された第31回日本国際工作機械見本市(JIMTOF2022)に出品いたしました。

大勢のユーザー、ディーラー様に来場いただき、更に市場を広げるため活発な商談を行いました。



第31回日本国際工作機械見本市(JIMTOF2022)



ツガミテクニカルフェア2022